

令和7年度第2回名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会 会議録

1 日時 令和8年3月24日(火) 午前10時～午前11時50分

2 場所 名古屋市役所 西庁舎12階 西12A会議室

3 出席者 審議会委員 南部 初世 会長
津金 美智子 委員
小松 尚 委員
建内 高昭 委員
中田 俊夫 委員
青木 総平 委員
伊東 慶 委員
長谷川 友美 委員
望月 健太郎 委員
事務局 総務部長はじめ11名

4 傍聴者数 10名

5 議題

- ・本地丘小学校、森孝東小学校及び森孝西小学校の統合並びに森孝中学校との併設に関する個別プランについて(諮問)(公開)

6 議事

No. 1

発言者	発言
事務局	<p>お待たせいたしました。</p> <p>定刻となりましたので、ただ今より、名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会を開催いたします。</p> <p>私は進行役を務めさせていただきます、教育委員会事務局教育環境整備課長の鈴木でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、全委員の11名中9名の方にご出席いただいております、名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会条例第7条第2項により、本会議は成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>開会にあたり、3点ご案内申し上げます。</p> <p>1点目は、ご発言される際のお願いについてです。机上有線マイクまたは無線マイクを置かせていただいております。お一人ずつマイクをご用意できていないため、恐れ入りますが、ご発言の際は、横の席の皆様でマイクをお使いいただきますようお願いいたします。</p>

発言者	発言
事務局	<p>2点目は、災害発生時の対応についてです。万が一災害が起きた場合の対応ですが、入室された出入り口から、職員の指示に従って避難していただきますようお願いいたします。</p> <p>3点目は、会議の公開についてでございます。本審議会は、名古屋市情報公開条例第36条の規定により、公開が原則となっております。そのため、非公開情報を審議する場合などを除き、公開とさせていただくことをご了承いただきたく存じます。</p> <p>また、本日の傍聴者は10名でございます。</p> <p>傍聴される方をお願いいたします。名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会の会議の傍聴要項の規定により、傍聴者は静粛を旨として、配布した資料「傍聴者の方へ」に記載しておりますとおり、会議場における言論に対して拍手その他の方法により公然と可否を表明しないことや、会場内では写真、ビデオ等の撮影、録音等は行わないこと等を遵守いただき、円滑な議事運営にご協力ください。</p> <p>それでは開会いたします。初めに、総務部長の木村より、一言ご挨拶を申し上げます。</p> <p>(あいさつ)</p> <p>続きまして、本日の資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(資料確認)</p> <p>これより先は、南部会長に議事進行をお願いしたく存じます。</p>
会長	<p>それでは議事を進めてまいります。</p> <p>次第に入ります前に、お手元に資料がございますとおり、審議会宛に2件請願がございました。また、審議に先立ちまして、請願者からの口頭陳述を行いたい旨の申し出が2件ございました。</p> <p>会議の運営上、3分以内で陳述を許可したいと思っておりますが、いかがでしょうか。</p> <p>それでは、陳述を許可します。陳述人の方、お願いいたします。</p> <p>口頭陳述は3分以内でお願いします。3分経過時点で、ベルを鳴らします。陳述が終わりましたら、傍聴人の場合は傍聴席へ移動してください。傍聴人でない場合は退出をお願いいたします。</p>
陳述人 1	<p>(口頭陳述)</p>
会長	<p>次の陳述人の方、お願いいたします。</p> <p>口頭陳述は3分以内でお願いします。3分経過時点で、ベルを鳴ら</p>

発言者	発言
陳述人 2	<p>します。陳述が終わりましたら、傍聴人の場合は傍聴席へ移動してください。傍聴人でない場合は退出をお願いいたします。</p> <p>(口頭陳述)</p>
会長	<p>それでは、請願の審査に入ります。まず、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>初めに、令和 7 年度請願第 1 号につきまして、「本地丘小学校・森孝東小学校・森孝西小学校の統合及び森孝中学校との併設に関する取り組みについて」ということで、教育委員会と地域の方との相互理解が得られておらず、特に森孝中学校との併設について反対の声も相当あることから、引き続き話し合いを行うことを求めるものでございます。</p> <p>先程、総務部長からの挨拶にもございましたが、これまで、保護者や地域の皆様を対象とした意見交換会や、地域役員の方々との話し合いを重ねており、私どもの考え方をご説明し、様々な意見をいただきました。そして、どのような点で、ご不安やご懸念をお持ちなのか、また、反対されているのかが明確になってきたものと考えております。</p> <p>私どもといたしましても、今後も引き続き、保護者や地域の皆様にご理解をいただけるよう、丁寧な説明に努めてまいりたいと考えておりますが、この度の審議会におきましては、保護者や地域の皆様のご意見と、教育委員会の考え方をお示しし、審議会の委員の皆様からご意見をいただきたいと考えているところでございます。</p> <p>次に、令和 7 年度請願第 2 号につきまして、「本地丘小学校・森孝東小学校・森孝西小学校の統合及び森孝中学校との併設計画に反対します。森孝東学区連合自治会の意向を尊重してください。」ということで、意見交換会等において、私どもの案に対する不安などや反対の意見が多数あり、個別プランに反対するものでございます。</p> <p>こちらにつきましても、第 1 号との繰り返しとなりますが、これまで、保護者や地域の皆様を対象とした意見交換会を重ね、様々な意見をいただきました。そして、どのような点で、ご不安やご懸念をお持ちなのか、また、反対されているのかが明確になってきたものと考えておりますので、この度の審議会におきまして、委員の皆様からご意見をいただきたいと考えているところでございます。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
会長	<p>説明が終わりましたので、委員の皆様からご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>請願第 1 号及び第 2 号については、ともに今回の審議会の議題に関連</p>

発言者	発言
委員一同	<p>する内容でございますので、「ご意見として承る」としたうえで、この請願書と口頭陳述の内容を踏まえ、この後の審議を行っていきたいと考えておりますが、いかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
会長	<p>ご異議なしと認め、そのように取り扱わせていただきます。</p> <p>それでは本日の審議に入らせていただきます。次第1「本地丘小学校、森孝東小学校及び森孝西小学校の統合並びに森孝中学校との併設に関する個別プラン（諮問）」について、事務局からご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(説明)</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、個別プランの内容や、それに対する保護者や地域のご意見に関する事等、委員の皆様からご意見、ご質問がありましたら、お願いいたします。</p>
委員	<p>よろしく申し上げます。</p> <p>まず最初に、私、所用で本日 11 時 30 分頃に退席をさせていただきますので、連絡させていただきます。申し訳ありません。</p> <p>一つ事実確認というか、教育委員会の方に質問させていただきたいと思います。</p> <p>今回、この参考資料等拝見させていただいて、森孝中学校が校舎が狭い、そこに対して中学生の子どもたちと小学校 3 校の子どもたちが、一緒に生活して学ぶということが、乱暴ではないかというご意見が出ていると認識しています。</p> <p>私、名古屋市立第三幼稚園の P T A の代表として今この場に参加させていただいています。第三幼稚園は、この資料の中にも出てくるのですが、なごや小学校の校区にある幼稚園で私も馴染みがある小学校、あと菊井中学校というところも校区にあるので、とてもなじみがあるのですが、なごや小学校は皆様ご存じの通り、3 校の子どもたちの数が少なくなっているの、統合してなごや小になっています。その時は、併設っていうのは特に検討はなされなかったのでしょうか。私も菊井中学校は見たことあるんですけど、あまり広い学校ではないので中学校の広さがあまり満足にないから、併設を検討しなかったのでしょうか。距離としてはなごや小学校と菊井中学校でそんなに離れてないので、子どもたちの通学の距離っていうのは、そんなに変わらなくて、今は、菊井中学校は菊井中学校として独立してあって、小学校が 3 つ、一つの小学</p>

発言者	発言
	校の所で旧幅下小学校の所で統合して、新校舎で生活しているのですが、そういった検討する、しないっていうのはその中学校の面積によって決まっているのでしょうか。
会長	では、事務局よろしくお願ひいたします。
事務局	<p>はい。今、なごや小学校の統合のときにですね、中学校との併設は検討されたのかというご質問だったと思います。</p> <p>なごや小の統合を進めた当時、今の子どもいきいき学校づくり計画というのが、平成30年に策定されました。</p> <p>それまでの計画につきましては、方針といたしまして、各小学校区、学区の組織、それからPTA、そういったところからですね、統合を進めて欲しいという要望いただいた上で、統合を進めております。</p> <p>そのためですね、なごや小の場合については、それぞれの3学区ですね、3学区の学区の方、学区の会長さんのお名前、それから当時のPTA会長さんのお名前の連名で、3小学校の統合を進めて欲しいという要望をいただきました。場所につきましては、校地が一番広がった、旧幅下小というところで、今のなごや小を設置するというような形で進めて参りましたので、その当時につきましては、地域からの要望をいただきながら進めていると。ちなみに笹島するときにつきましては、学区、それからPTAの方から、笹島中学校との併設をお願いしたいという要望はいただいておりますので、その辺りがちょっと違う点だったかなというふうに考えております。</p>
会長	よろしいでしょうか。ご発言ありましたら。
委員	<p>今のお話ですと、当初、なごや小は特に併設の検討はしていなくて、もともと地域からの要望があったから、旧小学校同士で統合がいいかと検討したということ。</p> <p>今回、参考資料を拝見させていただいて、森孝東小学校の校区の方のご意見がとても多いなと思っていて、森孝東小学校と本地丘小学校の2つの総合であれば、反対はしないというご意見が最後の方で出てきたのですけれども、その2つではなくて、ごめんなさい、中学校でというのは飛ばしちゃっているのですけれども、2つではなくて3区の、学校の統合を検討するというのは、2つの学校の統合であれば、その人数の基準、教育委員会の基準を満たさないから3校でやろうということなのですね。</p>
会長	事務局いかがでしょうか。

発言者	発言
事務局	<p>はい。本地丘小学校と森孝東小学校だけの統合であれば、市の基準を満たしてないのかというご質問だと思いますが、1・2ページにそれぞれ森孝東小学校と本地丘小学校の児童数の想定があると思います。</p> <p>仮にですけれども、令和13年度ご覧いただくと、本地丘小学校は19名、それから、森孝東小学校111名ってことで合わせて130名ということになります。その2つを足したとしても、クラス数としては6学級、というぐらいの規模感になります。</p> <p>そういったことで教育委員会といたしましては、今回、望ましい学校づくりをやっていくにあたりまして、小規模校の解消に繋がらないということがございますので、我々としては森孝西小学校も含めるとですね、12クラスとなり、全学年クラス替えができるような学校規模になりますので、3校の統合をぜひ進めていきたいというふうに考えております。</p>
会長	<p>よろしいでしょうか。事務局からですね。</p>
事務局	<p>いいですか。今の人数のお話だったんですけれども、やっぱり、教育効果ということ考えた場合に、学校生活の中では、たくさんの考え方に触れ合ったりだとか、たくさん子どもの中で認め合ったり、協力し合ったりしていくことが大切だというふうに考えています。</p> <p>そうやって考えていきますと、3つの小学校はどれも今、小規模校の状態が続いておりまして、先ほど説明にもありましたけれども、本地丘小学校、森孝東小学校では、人数がすごく少ないということで、教育効果を上げていく観点からも、小規模の解消が必要だというふうに教育委員会としては考えております。</p>
事務局	<p>はい。すいません私、先ほどですね、いきいき計画につきまして、30年策定と申しましたが、すいません。平成31年の間違いでございます。発言間違えまして失礼しました。訂正させていただきます。</p>
会長	<p>いかがでしょうか。</p>
委員	<p>教育委員会が掲げている方針とそもそも森孝東の学区の方々が、小規模、1クラス単学級であることに対してあまりマイナスのイメージを持たれてないということで、隔たりがあるということを理解しました。長々と失礼いたしました。ありがとうございます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。おっしゃっていただいたようにご指摘いただいた点も、これまでも地域からもあがってきた重要な論点だと思いますので、ここで確認できてよかったと思います。他はいかがでしょう。</p>

発言者	発言
委員	<p>現場教員の立場から、意見といいますか、ちょっと懸念点を伝えさせていただきたいなと思います。</p> <p>資料1の4ページの2、取り組みの方法等の(3)中学校を併設する理由というところで、体育の授業であるとか、運動の場の確保を重点に書かれているところがあって、第2運動場だとか、場所の確保がされているっていうことはとても大切だなというふうに思うのですが、実際、小学校とかで大規模校を想定してみると、運動場で2クラスが同時に体育を行ったり、そういうことをしているのですね。その場合は同学年が一緒に体育を行っている状況、同じ体格ぐらいの子がやっている状況です。小・中で同じところを使うとなった場合に、1コマの授業で混在することはないのかなという不安はあって、やっぱり小・中同時では安全面で不安があるなというふうに思います。それで検討していただきたいのが、授業時数というものがあるので、やっぱりそれを実際に想定して、運用が可能なのかというところは、今後ちゃんと出して行って欲しいなと思っています。数はOKでも、中学校の場合だと、教科担当だったりするので、場所としては確保できるけれども、そこに指導者がいないと授業としてはやっぱり成り立たないところがあると思うので、1人の先生が持てる体育授業数だとかコマ数も限られているところがあると思いますので、それで小・中それぞれが運動の機会が確保できるのかっていうようなところを検証して、ちゃんと確保ができるっていう状態をつくるのが結構大切かなというふうに思うので、ちょっと現場教員の立場から意見として言わせていただきます。以上です。</p>
会長	事務局お願いします。
事務局	<p>ありがとうございました。もっともなご意見だなというふうに思って聞かせていただきました。私も学校現場で働いていた経験もありますので、小学校の低学年なんかは学年で2クラスとか、同じ学年が同時に運動場を使って、体育の授業を行うことは考えられるかと思います。コマ数というのも確保は大事ななというふうに思っていますので、ちょっと今手元には資料はありませんが、今後ですね併設だとか一貫校で行っているような学校の、小学校、中学校の取り組み方などを研究させていただいて、そういった安全面の心配だとか、どのように運用しているかだとかっていうことをクリアができるようなことを具体的に調べてお伝えしていきたいとは思いますが、今現在の想定される学級数という、統合後、新校舎の方へ集まるときには、小学校が12学級程度、中学校が6学級程度ということをお考えすると、合わせて18学級程度ということになりますので、今ご心配になっている大規模校という学校の学級数より随分少ない学級数になるかと思っていますので、具体的には可能ではな</p>

発言者	発言
会長	<p>いのかなと見込んでいるところでございます。以上です。</p> <p>小中連携から小中一貫という形に国の政策が進んでまいりまして、随分時間が経っており、たくさんの事例が全国にございます。参考資料 6 に一部資料をつけてありますが、教育委員会としてさらに深く実態をお調べいただいて、今出されたようなご懸念を払しょくできるようにデータを集めていただければと思います。</p>
委員	<p>先ほどからの中で距離のお話とかが出ておりますし、小中同一校内というような点が問題というような話が出ておりまして、私の経験からちょっと 2 点について申し上げさせていただきたいと思います。</p> <p>まず、距離につきましては、ある程度長い方がいいのかなというふうに私は思っています。それは私の子どもを育てている段階で、長女は松本市の田舎の方の学校で育ちまして 2 k m ぐらいの距離を通っておりました。とても健康な子に育ててスポーツの選手になったりしておりました。ところが下の子どもはですね、長野市で育てておりまして長野市の小学校のすぐ隣に社宅があったものですから、2 分ぐらいのところでございます。こちらの方は運動不足が原因で側弯症という病気になりました。だから、通っていること自体が、非常に体を育てていく上で大切なことだなというふうに私は感じております。</p> <p>側弯症というのは、年齢とともに骨は伸びていくのですが筋肉が発達していないとなる病気でございます。6 年卒業して中学が変わるときに、お医者さんに健康診断で見えられまして、今は四十何歳になりますけれども、まだいまだに「背中が痛い」と言いながら暮らしております。だから、そういう子を作らないようにするためにも、ある程度の距離が必要なのではないか。ですから、暑さなどが危険だというお話もございますけれども、やっぱりクールダウンするスポットを契約していただいて作っていただいて、フォローしていただければいいのかなというふうに思っております。</p> <p>もう 1 つ、同一校内に小中学校もあるというのも、私自身が経験しておりまして、小学校と中学校が同じ校内にありまして、渡り廊下でつながっている。体育館はそれぞれ別にはありましたが、グラウンドは一緒のグラウンドを使っておりました。中学校の先生と小学校の先生が調整して、全く同じときに、内容と、ぶつからないような検討をされてからタイムスケジュールを考えてやっていたと思います。</p> <p>それから授業時間と休みのタイミングがずれていまして、小学校のときに、中学校の校舎の方に休み時間に見学といいますか、小学生のちょっと探検気分で行ったこともありまして、じゃあ、中学行けばこんな授業がされてあんな先生がいるのだなっていうようなことが、前もって学</p>

発言者	発言
	<p>習できたということがありまして、小学校から中学に移るときに非常に不安が少なかったような、そういう経験があります。ですからそのとき知った怖そうな先生も、時々、廊下や庭でお話して、とてもいい先生だなということがわかったりしたという経験もありますので、一緒にいることが、悪いことばかりではなくていろんな良いメリットもあるのだなあと、いうことをごさいます。</p> <p>それからすごく寒い冬がやってきたときに、中学校も小学校も、両方とも昔は石炭ストーブを使っておりましてけども、石炭を貯蔵するところが、小学校の方が枯渇してしまっていて、中学校の石炭置き場にもらいにいて中学生の当番の人から分けてもらったりして交流があって、非常に温かな良い思い出が残ったというような経験もごさいます。</p> <p>それから、もう1点付け加えさせていただきますと、今私が住んでる白鳥小学校区の中ですが、白鳥小学校と大口南小学校は交換会をやっておりまして、大口南小学校に行くと、木質化のすばらしい校舎ができ上がっております。ぜひ木質化を目標に取り入れていただきたいです。生徒は喜んだり、或いは伸び伸びと学習ができるような環境というのは、木質化された校舎にはあると思いますので、ぜひその点もご配慮いただければありがたいと思います。以上です。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございました。ご自身の経験に基づいて、小学校と中学校を併設しても、ご懸念には及ばないのではないかというご意見をいただき、通学の問題にも言及していただきました。特に事務局に対するご質問はないということでした。では、ほかに。</p>
委員	<p>よろしく申し上げます。今先ほどから、中学校を併設することについて、いろんなご意見を伺っているところですが、この諮問の中の4ページ、中学校を併設する理由が、物理的な面だけで示されているので、もう少し教育効果の点から書き足す必要があるのではないかなと思っています。</p> <p>先ほどから教育委員会の方からも、「教育的効果を考える」ということを仰ってくださいました。ちょうど、3月11日に、文部科学省から、学校の適正規模・適正配置のあり方に関する調査委員会のまとめが出てきており、その中にも、児童・生徒の教育面での効果について真っ先に考えねばならないと示されています。先ほどの委員からもご自身の経験談がありましたように、学校段階を越えた小中の繋がりをつくっていく中に、教育的な効果があらわれていると思います。不登校とか、授業の理解度は難しいとか、そういう中一ギャップには、小学校の教育と中学校の教育が円滑に接続が必要なのではないかと思っています。</p> <p>私は専門が幼児教育ですので、同じように考えるのは難しいかもしれませんが、今幼児教育でも、国の流れの中で、幼・小の接続がとても</p>

発言者	発言
	<p>重視されています。</p> <p>名古屋市におきましても、さまざまな幼稚園、保育所、認定こども園と小学校との交流活動が非常に盛んに行われるようになってきております。私もその交流活動に参加をさせていただきますと、普段見られないような小学校の児童の姿、予想外の気配りというような姿をさりげなく見せてくれたり、優しさを示してくれる姿を見たりしています。まさに、「ナゴヤ学びのコンパス」が示す「子どもは有能な学び手」であることを実感しているところです。</p> <p>私も幼稚園の現場におりました際、中学生が職場体験で来てくれたことがあります。中学生の男子生徒は、最初は本当にどうやって幼児に関わってよいかわからない、ボーっとしていたのですが、陸上部だと聞いたことから、「じゃあ子どもたちと一緒に鬼ごっこやってみようよ」と声をかけてみました。最初は一生懸命自分だけのスピードでビュンビュン走っていましたが、そのうちに変化してきて、後ろを振り返りながら、小さな子どもたちに合わせて走るような姿が見られてきたということもありました。その男子生徒さんは最後中学校に帰るときには、子どもたちと別れるのがとても惜しい、というような表情で、ちょっと涙ぐむような、そんな姿も見せておりました。</p> <p>ですので、併設することによるデメリットばかり見てしまうと、教育効果っていうところがどうも薄れるのではないかな、と思っております。</p> <p>「ナゴヤ学びのコンパス」について先ほどお話をさせていただきましたが、幼児教育から高等学校の教育まで一貫して探究的な学びを進めていくこと、一人一人に合った学びを進めていくこと、様々な人との出会いや学び合いを大事にしていくことが言われています。名古屋市全体においても、小学校教育と中学校教育がばらばらなものではなく、繋がっているという方針のもとに教育が行われています。併設校の中では、児童・生徒同士のつながりだけでなく、小学校の教員は中学校でどんな教育を大事にしているのかを見通しながら、もう一度小学校の教育を見直すこともできますし、中学校の教員も小学校がどんな学びを積み重ねてきているのかということ踏まえながら中学校の教育を考えることができます。そして今小学校での5年生、6年生は、専科の先生を置いているということもありますので、かなり児童・生徒だけの繋がりだけではなく、教職員同士もこれからの教育を考える上で、とても大事な併設のモデルとなっていくって欲しいなと思っています。そのためには、もちろん物理的な面での問題も解消していく必要があるかと思いますが、地域の方にも、保護者の方にも、そういった中学校と併設することによるメリット、教育効果をもっともっと伝えていかれるといいのではないかなと思います。この併設校が開校するまでに、かなりまだ年数がかかりそうですけれども、ぜひ、そういった教育効果の視点から交流活動、そ</p>

発言者	発言
	<p>して学びの繋がりを示していただきたいと思います。意見として申し述べさせていただきます。</p>
会長	<p>今、教育委員会に対する要望も含めてですね、ご意見をいただいたわけですけれども、教育委員会の方から何かコメントはございますか。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。本当にその通りだなと聞かせていただきました。地域や保護者の皆様からお話を聞いていますと、どうしても心配な方に目が向いてしまうということで、私たちもその心配に対して、こういうような対応ができます、と対応方法をお示しすることが中心になってしまっていて、小中が併設することのメリットまでしっかりと皆様方にお伝えができていないということが、今に至っている部分でもあるのかなというふうに考えております。</p> <p>本当にご指摘のように、小学校と中学校が同じ敷地内にあることによって、小学校の子どもにとっても、中学校の子どもにとってもプラスになることは、私たちも多々あると考えております。また、お話の中にありましたが、教員にとっても、同じ敷地内にあることによって、お互いの教育活動を、見ること、実際に感じることで、それもメリットになるというふうに考えておりますので、そういったことを上手く、皆様方に伝えていって、ご心配に対してはしっかりと対応についてお話をしていくことも大切だとは思いますが、この小と中が、同じ敷地にあることによる、不安を払拭するとともに、メリット、いいところもこんなところがあるのだということも、うまく伝えていけるようにしていきたいと考えているところです。ありがとうございました。</p>
会長	<p>全国の小中連携、小中一貫を導入してきている所は、実際にはまず連携ということで、教職員同士の連携、そして子ども同士の交流というところから進め、より積極的な一貫した教育課程で教育を行うっていうところまで進んできているわけですけれども、名古屋市においてはこれまでそうした経験がございませんので、まずはこの小中の併設という形での連携を始めるということの重要性を、教育委員会もその点は十分ご認識いただいているのではないかと思います。</p> <p>では、よろしく申し上げます。</p>
委員	<p>お願いします。今の、同じ敷地内で小中学校があるということに関しては、私は中学校の校長をやらせていただいておりますけれども、小学校も同じ敷地内でございます。メリットといたしましては、毎朝通ってくる校門のところで、まず小学校の子に挨拶をして、そしてそのあと中学生が入ってくるという形で、またきょうだいがいる場合は、お兄ちゃんと妹と一緒に学校に入ってきます。という意味で、同じ敷地にあること</p>

発言者	発言
	<p>により、毎朝我々も声をかけて小学生にも挨拶をするし、当然中学生にも対応しているということです。</p> <p>関わって、小中の連携の事業も実際に同じ体育の中で、中学生と小学生と同じように、ボールを扱う活動をやってみたり、或いは運動会においては、中学校の教員が小学校の運動会を見に行くということが日常的にも行われているし、同じ敷地にあるということで、ちょうど昨日が新中1年生の説明会があり、その話をしたときに、実はお兄ちゃんがいる、あ、君は弟なんだね、というような形で、保護者もすごく安心感がある。要するに、9年一貫とは言いましたけれど、うちは別に小中一貫の状態ではないですけど、併設の状態と同じ敷地内にある状態であると、保護者が非常に安心して、その学校の活動が行われているということがございます。</p> <p>併せてですけれども、このご時世にあって、老朽化した学校を新たに建てるなんってことは、ほとんどありえないような中であって、このような新設の形でいくということは、この地域にとっても、非常に子どもの健やかな発達に、非常に資するのではないかということ、さらにもう1点、ご懸念の、少クラスで行うということが悪いわけじゃないと思うけれども、現在の学校で少クラスになっていくことに、ものすごい反対がある中で、今回増えるというのは、学校によっては非常にありがたい話で、やはり心の通い合う集団づくりっていう、やはり1クラスの中では限界がある中で、いろいろな生徒に出会っていくということは非常に意味のあることだと思います。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>教育委員会の方から何かコメントはございますか。</p>
事務局	<p>小中併設なのか一貫校なのか、途中で地域にご説明した内容が変わったという話も請願の中で触れられましたけれども、これは確かにはその通りでございまして、先程の説明で申し上げたように、途中で方針が変わりました。一貫校にするということについての方針というものが、外の皆様にお伝えできるほどの明確なものが現在ないというところですけども、自治体ではですね教育振興基本計画というのを4年1回くらい作るようになっていまして、国の計画を受けたものを勘案して作るものなのですが、今現行で動いているのが令和6年に発表された第四期の計画で、その中で新たに、一貫教育の推進というものが加わりました。これは、ハード面に頼る、「近い」とか「一緒の場所にある」とか、そういうものに依存した小中一貫教育を考えるのはやっぱり限界があるのではないかと。名古屋市には260の小学校と110の中学校がありますので、どこもがそういう物理的な条件の良いところではありませんので、そういう条件に関わらず、一貫教育を進めていこうではないかとい</p>

発言者	発言
会長	<p>うことを、令和6年に初めて打ち出しました。実際のところ、110中学校ブロックがある中で、お互い授業参観などして子どもの様子を見合っているというところが6割ぐらいあったり、現職教育、先生の研修ですね、日々行われている勉強ですけれども、合同の現職教育が行われているのが4割ぐらいとか、徐々にこういう広がり浸透しつつありまして、今日いただいているお話も、我々の地域での説明不足は、先ほど申しましたとおり、反省すべき点はであると思っておりますけれども、今日いただいた点を踏まえて、また機会がありましたら、地域の方でもご説明していきたいと考えております。</p> <p>どうもありがとうございました。他に何かありますでしょうか。</p>
委員	<p>私の専門は建築なので、建築的な話をしたいと思っております。先ほど校舎の老朽化の話があったのですが、今回の事案だけでなく、この審議会でこの話がなかなか出てこないの、いい機会なのでお話しします。今日、議論されていることは比較的教育そのものに関わるものが多いのですが、一方で、学校の校舎というのは公共施設であり、公共施設というのは今、どの自治体も、これから人口減少で税収が落ちていくなかで、どうやって適正化するかが、非常に大きなテーマになっています。</p> <p>名古屋市には、全市的に公共施設をどうしていくのかというプランがあるのですが、その中で学校は、かなり重要な計画対象になっています。なぜ重要かということ、保有面積が施設タイプ別で一番多いからです。市営住宅も多いのですが、一番多いのは学校で、恐らく半分弱くらいを占めるかと思っております。そうすると学校の建物の将来の総面積をどれくらいにするのかということが、名古屋の公共施設の維持管理や再整備上、とても重要なテーマなのです。それを受けて、名古屋市教育委員会は8~9年前にリフレッシュプランという計画を作ってしまっていて、これから学校の建物を、総量は減らしながら充実させていくか、安心した学び舎にするか、というプランを立てています。その中では、やはり適切に、子供の数に合わせて総量を減らしながら、一方では、最終的には小中一貫ということも前提にしながら再整備や再配置をしていかないと、子どもの教育ももちろん大事ですけれども、その前に財政的に成り立たなくなることがある程度わかっているのです。その様な現状や計画が、この審議会ではあまり認識されないまま議論が続いている気がするのです。</p> <p>なので、教育そのものについても大事ですが、同時にこれからどのような学び舎を子どもたちに用意していくのか、ハードウェアとしての建物をどうしていくのかということと同時に考えないと、教育の理念は素晴らしいけれども、それを実現するハコがない状態、もしくはハコはあるけれども、とても安全とはいえない、もしくは理想的な教育を実現できるような物的な環境がないという事態を招くのではないかとということ</p>

発言者	発言
事務局	<p>を私は危惧します。</p> <p>それで、質問ですが、今日の資料1に、本地丘小学校と森孝東小学校と森孝西小学校がだいたい昭和54～55年に分離独立・分離創設と書かれているので、おそらくその時に新しい校舎が竣工したのだと思いますが、その後にリフレッシュプランで言っている長寿命化改修が行われているのかどうか、まず教えていただきたいです。</p> <p>はい。ありがとうございます。</p> <p>本地丘小学校と森孝東小学校と森孝西小学校、森孝中学校もそうですが、本地丘が一番古くて築47～48年経っております。今委員からご質問ありました維持するための改修というのは、平成の頭ぐらいにされています。それから、森孝東小学校につきましては築40年ぐらいになりますが、平成23～26年ぐらいの間で改修をしております。</p> <p>また森孝西小学校につきましては22～24年、こちらも築40年位経っています。森孝中学校につきましては大体築40年位ですが、そういった改修は体育館だけ行ったというような状態でございます。以上でございます。</p>
委員	<p>そうすると、それはリフレッシュプランで言うところの、いわゆる保全改修、くたびれてきた所を直すことは既に行われたのですね。</p> <p>リフレッシュプランには、リニューアル改修というのがあって、竣工後のだいたい40～50年あたりで大規模に改修するという計画なのですが、なかなかそれをできていない、若しくはできる状況にないと理解してよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>すいません。私の説明が足りなくて、森孝東小とか森孝西小については、大規模改造ということで行っていますので、リフレッシュプランの中で言うと、一応中間期、40年位経った時の、大規模改造というか、保全よりも少し手を入れたような形にはなっているというふうに理解しています。</p>
委員	<p>そうすると、仮にリニューアル改修レベルのことを行われたとすると、ここからおそらく40年ぐらい使うことになると思われれます。通常、公共施設は、日本の場合には大体50～60年位を目途に建て替えるというのが、一般的な皮算用なのですけれども、現実的にもまさに皮算用で、今はそれができる財政状況にないので、大体80年ぐらいまで騙し騙し使うという状況になっています。</p> <p>ここから我々が考えなければならないことなのですから、今の学校をこれから40年使うのですか、今のような物を騙し騙し使いながら、今の学校でやっていくのですか、それは本当に、教育上良いことで</p>

発言者	発言
会長	<p>しょうか、ということ、今度はハード面から考えないといけないのではないかと思います。</p> <p>それからもう一つは、他の自治体では、やっぱりもう 80 年まで待たないので、早い段階で良い形で建て替えて、より今日的な教育環境としての校舎を造ろうと動いているところもあります。それはなぜかという、特に学校は 1960～70 年代の子どもがたくさんいた時にたくさん造っています。たくさん造っているということは、80 年を迎える時期にもたくさん建て替えが増えるということです。それを担うだけの財政力が、その時名古屋市にあればいいですけれども、リフレッシュプランを議論した時には、「ないだろう」という判断なのですね。だから、整備費をもっと平準化しないといけない。だから改修をしたり、いろいろしながらタイミングをずらすことを議論していたのですが、そうすると、やっぱり 80 年使うのではなくて、今日的な教育に見合うような教育環境を早くつくってしまおうという考え方をとる自治体もあります。そういった自治体では、今まで見たことのないような新しい校舎がどんどん生まれています。もちろん統廃合に際しては、地元と議論や意見の擦り合わせも必要ですが、一方で、今の校舎が、本当に今の教育にふさわしいのかというのを、一度よく考えた方がよいのではないかと思います。</p> <p>つまり、人数だけの問題じゃないでしょうというのが私の意見です。それに、今の ICT 教育がかなり一般的になって、学び方がよりパーソナルになってきている時に、今のような学校の校舎がこれからもずっと続いていくのかどうか、むしろ、個別最適な学びのために相応しい校舎を造っていくということを議論していかなければいけないのではないかと、今お話を聞いていて改めて思いました。これは、今日明日に何か結論を出すということではないですが、校舎のあり方は、教育や学習の方法を如実に表すものですので、是非その観点からの議論を深めていかないといけないと思います。これは私の意見です。</p> <p>建築学、都市計画の観点からご発言をいただきました。今ご紹介・ご提示くださったように、全国において、学校施設の老朽化問題が発生し、非常に大きな問題になっておまして、それとあわせて、人口減少の問題、地方によっては、地域のセンター機能を持たせる形で、教育だけでなく、福祉の機能と一体化した施設を造ったり様々な試みが始まっているのですよね。教育面でも、今まさに学習指導要領の改訂の時期に差し掛かっておまして、子どもの学びのあり方もこれから先想像もできないぐらい、変わっていく可能性がある中で、先ほど言っていたような、これまでの箱物としての学校という形ではない、新たな未来志向の建物を考えていくということもあり得るかと思います。</p> <p>もちろん今の教育委員会の担当部署だけではなくて、これから少し長いスパンで施設の面も含めて考えなければいけない、というご意見とし</p>

発言者	発言
事務局	<p>て承りました。事務局の方で何かお答えできることとか、ご提示できることがもしございましたらお願いいたします。</p> <p>リフレッシュプランのお話もありましたが、我々の子どもいきいき学校づくり計画、これは、リフレッシュプランができた後にできておりました、計画の中でも、施設の老朽化というのを課題にあげながら、計画を作らせていただきまして、今後の取り組みの中で、施設整備に関することについては、統合を機会に、老朽化の進む学校施設を早期改善するというようなことも、プランの取り組みとして入れています。</p> <p>その中で、今の教育環境の向上を図るということも含めながら、我々としては取り組みをしていくと。もちろん、リフレッシュプランの中に、工事の経費の平準化、80年目途で校舎ありますけども、委員からも指摘があったように、高度成長期に、子どもの数が一気に増えて、学校の数が一気に増えたということで、建て替えのタイミングがけっこう重なる時期がどうしてもありますので、例えば、今申し上げました、各校の改修状況とか、改修が進んでいないところについては早めに、40年、50年くらいで早めに建て替えて、そうすると、80年で本来あるけれども少し前に建て替えることで、経費の平準化、建て替えるタイミングをずらすということはできていくと思いますので、そういったことも念頭に置きながら、我々としては施設整備、それから、今後の学習環境、教育環境、新しい学習指導要領の変更も見据えながら、新しい施設をつくる時には、そういった施設整備に対応できるようなことはしっかりと考えていきたいなというふうに思っております。以上でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。では、他にご意見はございますでしょうか。</p>
委員	<p>もう1点だけ。今、箱物の話が出たのですけれども、同時にやはり、どういう先生方がそこに赴任なさるかというのが非常に大きくて、どんなに箱が立派であっても、教育は人ですので、今回のような統合に関わっては、当然ですけれども、それなりに力のある方が配置されて、色々なかたちで進めていかないと、初めの部分が非常に大変だと思いますので、その辺にやはり重点的に、名古屋にたくさんいらっしゃる方の中でも力のある方を配置していただいて、学校づくりを進めていただけるということがいいのかということだけ指摘させていただきます。</p>
事務局	<p>力のある教員を集めてというようなお話がありました。統合される場合には、通常の定数の教員以外に特命を持った主幹教諭をプラスして配置されるのがこれまでの統合校であったものとなっています。力のある人をたくさん集めるというとなかなかどういうふう、というところが</p>

発言者	発言
会長	<p>あると思うのですけれども、学校規模がそれなりに大きくなれば、小規模の学校ではできない男女比、先生も男女比のバランスが良い学校になったり、年齢層も、ベテランから中堅、若手というバランスの良い教員配置ができることになっていくかと思います。あと、小中併設ということで、免許状を小学校・中学校の両方持っている教員の任用なども、この先考えていく必要があるのかなと考えております。</p> <p>ありがとうございます。これまで、統合によりプラスで教員配置があったということで、今回もそういうことは当然想定されているかと思えます。実際に新たな環境になるということもありますし、今回出ましたように、教育の内容面で新たな取り組みにチャレンジしていくこととなりますので、ぜひとも、手厚い力量ある教員の配置というとなかなか難しい面もあるかもしれませんが、より多くの教員を配置して、手厚くいろんな手当ができるように、ご努力いただければありがたいと思います。</p> <p>他、いかがでしょうか。よろしく願います。</p>
委員	<p>小学校に子どもが通う保護者として、また昨年まで中学校にも通っておりましたので、その保護者の立場、また、一住民としての立場もごさいますので、そちらの観点から少しお話できたらと思うのですけれども、今回お伺いしておりますと、本地丘小学校と森孝東小学校の統合については概ね賛成なのかなと。その2つがくっつくことに対しては賛成というふうに受け取っております。</p> <p>その際、建物の話が出ておりましたけれども、例えば、本地丘小、森孝東小が統合して、森孝西小は継続、森孝中も継続という場合に、建物は、先ほど仰られましたように、あと30年、40年そのまま、もしくは40年、50年使うことになるというのが、地域住民の目からすると、デメリットでもあるのかなと。</p> <p>今回、新しい物を作っただけという提案の中で、それを自分たちで放棄すると言いますか、そういうことにも繋がるのかなと、少し思いました。私の子どもが通っている小学校は、やはり昭和40年代にできておまして、はっきり言って、建て替えてくれよと思っております。</p> <p>その中で、先程の委員と同じで第三幼稚園に子どもが通っておりまして、ちょうどなごや小の統廃合のときに、目の前を統廃合する小学校ができておりました中で、なごや小が新しくできたところ、体育館を使わせていただいて我々第三幼稚園が運動会をしたことがあって、めちゃくちゃうらやましかったですね。今、本地丘小さんと、森孝東小さんの統合だけでいった場合に、これは質問なのですけれども、やはりそのままの校舎を使ってということであるのか。逆に、今回のチャンスを逃すとまたかなり先に送られますというのも、住民の方にとってはデメリット</p>

発言者	発言
	<p>トをちゃんと教えてあげられることになるのかなと思います。</p> <p>もちろん先の計画はわからない部分もあると思いますが、今自分の地域で起こった時に、私だったら自分の子どもは新しい校舎を使うことは叶わないわけでありませうけども、しかし、5年後、6年後に新しい物が建つという楽しみを持って地域住民として関われるのかな、と感じさせていただきましたので、3校もちゃんと改修しますよということであればまた話は変わってくるのですけれども、その辺りどうなのでしょう。</p>
会長	<p>教育委員会、お願いします。</p>
事務局	<p>今、2校統合の場合に校舎改修するのか、というお話だったと思いますが、基本的に、先程人数のお話を申し上げましたけれども、この人数規模の統合であれば、今の校舎を、新たに何か改修をしてということではなくて、そのまま活用できるというふうに我々としては考えておりますので、特に手を入れるということは難しいかなと考えております。</p> <p>ただ、先ほどちょっとリフレッシュプランの話がありましたけれど、80年持たせるための必要な改修は当然やらないといけない、安全面の確保はやらないといけないと思いますので、そこはやってはいきますが、今回我々が提案した、もし併設までやっていただければ新たに校舎を造るというようなところまでは難しいかなと考えております。</p>
会長	<p>ありがとうございました。他、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>いくつか意見というか、話していきたいなと思っています。</p> <p>我々PTA会長ですから、一番のメインの行事は入学式と卒業式の緊張する挨拶であったりするわけです。</p> <p>そこでお話をさせていただく時に、卒業式の時にお話をするのが、小学6年生で卒業したけど、制服を着て中学校に行っても、地域のお兄さんお姉さんなんだよ、という話をさせていただいています。</p> <p>先ほどの皆さんのお話にもありましたけど、中学校になったから小学生関係ないわ、というのではなくて、ちゃんと、通学する時に、小さい子どもたちにも挨拶をできるようなお兄ちゃんお姉ちゃんになって欲しい。逆を言えば、言わないとやらないから言っています。</p> <p>そういう意味では、中学校と小学校が一緒になるというところで、そういう近くに小学生がいるというところは、教育上、僕は言わなくてよくなるのだけど、違うことを卒業式言わなきゃいけないのでネタを考えなきゃいけないということでもあるのですが、とてもいいところもあるのかなというふうに皆さんのお話を伺いながら聞いていました。</p> <p>娘が小学生ですが、先ほどの財政面の話でいくと、バレー部に子ども</p>

発言者	発言
会長	<p>が、部活というか週1回ですが所属をしていて、よく家で言われます。</p> <p>「お父さん、PTA会長でしょ。体育館にクーラー入れてよ。」</p> <p>いい娘だなと思っているのですが、最初は「お父さん、PTA会長なんだから扇風機入れてよ」から始まったんですよ。クーラーじゃなくて。なんかそれほど子どもたちの、教育環境で贅沢を言っちゃいけない空気感というか、そこから始まっている。</p> <p>先ほどの、登校する際の熱中症であるとかそういったリスクがある安全面の話は、もちろん僕も心配するところではあるとは思いますが、逆に、学校にいるときの安全対策の方が、感覚としてそっちの方が優先的。言いたいことは、クーラーを早く入れてくれということをお願いしたいのですが、だとしてもこの機会にそういった環境が整うと、途中の資料にも体育館の空調が入りますよという話があった、その部分がものすごく大きいなというふうに思いました。</p> <p>あとは、資料1を見させていただくと、確実に今後子どもたちの数が減っていくというところ、さらにここから転出することもあるわけですよ、現状なので。となった時に、PTAの立場でいくと、PTAを運営していく時に、この人数になった時に運営できるのかというところは、非常に難しさを感じるなというところはあります。</p> <p>小さいコンパクトだからこそ、熱量を皆で出さなきゃいけないくて、頑張ってる、という学校のPTAさんもいらっしゃることはいらっしゃるのですが、一般的にはなかなか手がいないという中なので、そういう意味では、学校の規模があることで、少し救われる、一般的に考えればですけど、救われる部分というのはあるのかなというふうに考えます。</p> <p>その組織の部分の課題は大きいかなというところ。特に、数字に直面すると明日は我が身だなと思いながら、資料見させていただきました。意見としては以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>小規模化していくと、地域の活動であったり、PTA活動というの、なかなかお願いしていくのが難しくなってきますが、今回の案にある中学校区という単位で見ますと、ひとつの中学校区ということで、また新たな地域づくりが、元々の小学校区のPTAづくり、連携・協力から始まっていくということがあり得るのかなと思います。</p> <p>今、学校施設設備のことも仰いましたけれども、何か教育委員会の方で、補足することがありましたら、お願いします。もう1つ、今回請願が出ておりますように、子どもたちの通学途上の、特に暑さ対策がやはり保護者の方の大きなご懸念になっているわけで、これまでの学校統合の事例においても、そういう論点が必ず取り上げられ、教育委員会として対応を考えておられて、今回は資料の中でも提示されていますが、更</p>

発言者	発言
事務局	<p>に何か考えていることがあれば、お聞かせいただければと思います。</p> <p>施設整備からお話させていただきますと、参考資料2を見開きしていただきますと、新しい学校のイメージは、という⑤のところがありますが、こちらの方を見ていただきますと校舎の方は、様々なものを造っていきながら、例えば体育館でいうと小学校と中学校用を造るとか、あとは、エレベーターも造っていききたいなということで触れさせていただいております。</p> <p>これまで、学校によっては、エレベーターがまだ設置されていない学校もございますので、今回、もし統合決定して進むということであれば、そういったバリアフリー対策というのをしっかりとやっていく。それから、木質化というところもご意見を先程いただいたと思いますので、木質化も進めていきたいというふうには考えております。</p> <p>それから、熱中症対策でございますけども、資料の方にも、他の学校の状況を出ささせていただきましたけども、この他に例えば「子ども110番の家」とか、それから「避暑スポット」というのも、今、健康福祉局の方で取り組みがされていまして、夏の暑い期間については、誰でも使えるようなそういった休憩スペースみたいなものを少しでも広げていこうという取り組みをしておりますので、そういった場所を、通学路の提示なり設置をする時に、そういったスポットが近くにあるかどうかとか。それから、子どもたちにも、通学のみにかかわらず、例えば自分が外へ遊びに行った時に、ちょっと気分が悪くなったらそういう所に行くんだよというような指導というのも必要ではないかなというふうに考えておりますので、そういった活用ができるような形。それから、そういったような施設を少しでも増やせるようなことも、健康福祉局とともに、ちょっと考えていかないといけないというふうに思っております。</p> <p>あと、通学路の設定につきましても、例えば熱中症対策として日影があると非常に有効だということは、専門家の方からもお聞きしておりますので、地域の状況を見ながらになると思うのですが、距離の面もありますが、そういった面も様々見ながらですね、子どもたちがいかに安心して帰れるか。それから、途中で例えば水が飲めるようなスポット、そういったものも、取り入れられるかどうかですね。当然、子どもたちが安心して行ける、そこへ行くためにわざわざ危険な場所を通って行くのも、おかしな話になりますので、しっかりと地域の状況ですね、特性とか見ながら、通学路の設定はしていきたいなと。学校とともに、相談しながらやっていきたいというふうに考えております。</p>
事務局	<p>今、お話させていただいたものにつけ足しというか、出てこなかった事例というところでは、例えば、学校の方にウォータークーラーを設置して、水筒が下校時に空っぽだった子どもたちに、補給をさせて帰すと</p>

発言者	発言
会長	<p>このような取り組みが他都市だとか市内でもあったりしますし、それ以外に、ネッククーラーといって首を冷やすような、そういったものがあると思いますけども、そういったものを冷やすために、冷凍庫を設置したり、あとはクーラボックスに冷たいものを入れてそこに保管したりしているというようなことを行っているところもあります。</p> <p>ただ、自分も教員ですから、大切だなと思うところとしては、下校のときが一番心配かなど、どうしても暑い時間になるので、そういった時に、帰る際に、子どもたちの健康状態が本当に大丈夫なのかというのを意識して見守るようなことを徹底するとかですね。</p> <p>あとは、子どもたちが、熱中症に対して、体調がちょっと悪いと思う時に、どう自分で判断してどう対応していくか、という学びということもしっかりやっていくことが、一方では必要ではないのかなというふうに考えているところです。以上です。</p> <p>ありがとうございました。他にご意見はございますでしょうか。ひととおり委員の方々にご意見をいただいたと思いますけれども、特にございませんね。色々なご意見をいただきまして、ありがとうございました。</p> <p>皆様のご意見を伺っておりますと、3校を統合する取り組み自体については、必要であると捉えられているように思いました。ただ、繰り返し保護者や地域に対して、事務局からご説明されてきたわけですが、やはりまだ、ご不安やご懸念を完全に払拭できたわけではないと思います。</p> <p>それを踏まえますと、もう一度審議会を開きまして、保護者や地域からの主なご意見をまとめて、それらに対する教育委員会としての考え方等を改めて示していただいたうえで、もう一度、客観的な観点から審議することが望ましいのではないかと考えておりますが、いかがでしょうか。</p>
委員一同	(異議なし)
会長	<p>それでは、そのように進めさせていただきます。ありがとうございました。</p> <p>次に、次第2の「その他」として、委員の皆様からご意見、ご質問等がございましたら、お願いいたします。</p> <p>特にないようですので、以上をもちまして、名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会を終了いたします。皆様どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、事務局にお返しいたします。</p>
事務局	会長ありがとうございました。委員の皆様、本日はお忙しい中、大変

発言者	発 言
	<p>熱心にご審議いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>以上をもちまして、今回の審議会を終了いたします。ありがとうございました。</p>